

漢方薬で癒す
こころとカラダ

17

月経痛に芍薬甘草湯

当院の思春期漢方外来を受診される女性は、ほとんどの方が月経関連のトラブルを抱えています。月経痛が強い場合、その場しのぎで市販の解熱鎮痛薬を使用している場合が多いのですが、胃腸障害や冷えなどの副作用を考えるとお勧めできません。その点、漢方薬なら安心して使えます。最も効果的な処方

は、芍薬甘草湯です。

月経痛は、月経血を押し出そうとする子宮平滑筋のけいれん性の収縮から起こります。芍薬甘草湯は、下肢の筋肉のけいれ



んである。こむらがえりの特効薬として有名ですが、子宮平滑筋にも同様な効果があります。一番最初の内服時では、「著効を示す者は約1割、半数にはある程度の効果」という報告があります。しかし、月経開始前からの予防内服や月経周期を重ねることによる繰り返しの内服で、最終的な有効率は9割に達します。

(小児科部長 池野一秀)

芍薬甘草湯

しゃやくかんそうとう

【効能又は効果】

急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの

思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中!